

2017年度 聖学院大学総合研究所
競争的資金獲得・コンプライアンス推進のための研究会 主催
「競争的資金獲得・コンプライアンス推進のための研究会」報告



司会：平修久先生（上段右）
発題者：村瀬天出夫先生（上段中央）
発題者：中原純先生（上段左）

2017年7月12日（水）、聖学院大学総合研究所による「2017競争的資金獲得・コンプライアンス推進のための研究会」が教授会室において開催された。同研究会代表の平修久副学長・政治経済学科教授の趣旨説明ののち、村瀬天出夫欧米文化学科特任講師、中原純人間福祉学科准教授が講演を行い、最後に平教授による今後の科研費改革についての報告が行われた。参加者は23名（講演者3名含む）であった。

平教授による趣旨説明では、学内教員による競争的資金獲得を今後とも促進していくための研究会開催であることが伝えられ、新しい科研費審査方式の改革にも対応していく必要性が指摘された。

村瀬特任講師による講演では、研究計画の作成について「構造化」という観点から説明がなされた。計画書のフォーマットに沿って具体的な留意点を挙げながら、審査者にとって読みやすく説得力ある記述になるよう計画書を構造化することの重要性が示された。さらにアウトプットの明確化、研究活動における国際性、負担のかかる審査員への

配慮といった点が強調された。

続く中原准教授による講演では、過去に採択された研究計画書の実例を挙げながら、科研費獲得のための要点が示された。研究上の準備活動から実際の計画書執筆における留意点まで、具体的かつ詳細な説明がなされた。とくに継続的な研究活動の重要性、資金獲得のための大学院生向け教育活動の必要性、学内の支援体制の強化ならびに教員の研究者意識の重要性が指摘された。

最後に平教授によって、平成29年度9月公募から実施予定の新たな科研費審査システムについて、その概略が説明された。新たな審査区分、審査方式の変更点、研究種目体系と若手支援プラン（CIO）について資料とともに説明がなされた。

全体をとおして講演者と参加者のあいだで活発な質疑応答がなされた。予定されていた時間では足りないほど盛んな議論がなされ、参加した教員の研究活動ならびに競争的資金獲得にかんする意識の高さが反映される研究会となった。

（文責：村瀬天出夫 [むらせ・あまでお] 聖学院大学人文学部欧米文化学科特任講師）